

## 前田和甫先生の死を悼んで



前田和甫先生（室内環境学会名誉会員，東京大学名誉教授）が本年4月25日にお亡くなりになりました。享年85歳でした。先生は1975年に東京大学医学部疫学講座教授に就任された後，長きにわたり，我が国における疫学研究・教育の先駆けとして，その発展にご尽力をされました。特に，大気汚染の健康影響に関する疫学研究を進められ，その中で，室内空気汚染の重要性にも関心をもたれました。大気汚染の疫学研究で有名なハーバード大学公衆衛生大学院の研究グループが室内空気環境の研究にも取り組んだことと問題意識は共通のものであったと思います。

本学会との関係が深い国際室内空気環境学会（The International Society of Indoor Air Quality and Climate）が設立されたのはカナダTorontoのIndoor Air '90の後だったと記憶していますが，前田先生は日本からの参加者がほとんどいなかった1981年に米国マサチューセッツ州Amherstで開催されたIndoor Air Pollution, Health and Energy Conservationにも参加されています。その後のStockholm, Berlin, TorontoとIndoor Airに参加する日本の研究者が増えていきました。研究分野が異なるために国内学会では交流することが少なかった日本の研究者と国際学会の場で親睦を深めるきっかけを作られたことが，1994年の室内環境研究会設立の土台づくりに役だったのではないかと思います。

前田先生の研究における基本テーマは，疫学手法を用いた環境保健分野における課題解決への取り組み，特に行政的・社会的な課題への貢献でした。その意味で，人々が最も長い時間を過ごす室内の環境に強い関心を持たれたことは当然のことだったのではないかと思います。

前田先生のご冥福をお祈りいたします。

新田 裕史（国立研究開発法人国立環境研究所フェロー）